

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援つくし		
○保護者評価実施期間	R8年 1月8 日 ~ R8年 1月 22日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	R8年 1月8 日 ~ R8年 1月 22日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月12 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活動作の習得。	挨拶（ジェスチャー）をする、食事中、は落ち着いてい 座って食べる、衛生面での手洗い等の基本的動作が身に つくようにお手本を見せながら取り組んでいます。	ご家族と情報共有しながら、出来たらたくさん褒めて スマールステップに取り組んでいきたい。
2	家族へのサポート体制の充実。	連絡ノートやお迎え時にお話をする事で、ご家庭での様 子や利用時の活動報告をする事で情報共有をしていま す。相談は随時お受けし面談を行っています。また年2 回の保護者会を開催し情報交換や保護者同士の交流の場 をも受けています。	御家族が職員に話をし易い雰囲気づくりをし相談をお 受けしていきたい。
3	多職種連携による支援。	保育士、看護師、介護福祉士、理学療法士の多職種が専 門分野の視点から様々な意見を出し合い支援していま す。	研修や日々の研鑽でスキルしよりよい支援に繋げてい きます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事故防止・緊急時対応・防犯・感染等マニュアルを策定 し職員には周知徹底していますがご家族への周知徹底不 足があります。	くり返しの伝達が出来ていない事です。	契約やモニタリングに繰り返しお話を周知徹底を図り ます。
2	他機関との連携不足。	一部の利用者は、医療・学校・行政と連携していますが 全体的に連携不足です。	関係機関に積極的に働きかけ交流する機会を持ちたい です。
3			